# Reveal® 3-D for Peanut Allergen

キット製品

## キットID

| | | |
|---|---|---|
| 製品名 | : | Reveal® 3-D for Peanut Allergen |
| 製品コード | : | 901041L |
| Part Number(s) | : | 901041L\|700002635 |

## キット安全情報シートの供給者の詳細

**Manufacturer**
Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - https://www.neogen.com/

**Importer**
Neogen Japan K.K.
220-0012
Kanagawa Nishi-ku Yokohama City 3-3-3, Minatomirai 12F Yokohama Connect Square
T 045-211-4615

## 一般事項

| | | |
|---|---|---|
| 使用上の制限 | : | あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。 |
| 概要 | : | このテストキットは、以下に記載されている複数の個別コンポーネントで構成されており、それぞれに安全データシート（SDS）が付属している場合があります。物品、および固定化されてアクセスできない化学物質には、このパッケージに安全データシートは付属していません。 |

# Reveal® 3-D for Peanut Allergen

キット 安全情報シート (SIS)

## キット内容

| 名前 | GHS分類 |
|---|---|
| Rapid Extraction Buffer, Type 9 | 爆発物 分類できない<br>可燃性ガス 分類対象外<br>エアゾール 分類できない<br>酸化性ガス 分類対象外<br>高圧ガス 分類対象外<br>引火性液体 分類できない<br>可燃性固体 分類対象外<br>自己反応性化学品 分類できない<br>自然発火性液体 分類できない<br>自然発火性固体 分類対象外<br>自己発熱性化学品 分類できない<br>水反応可燃性化学品 分類できない<br>酸化性液体 分類できない<br>酸化性固体 分類対象外<br>有機過酸化物 分類できない<br>金属腐食性化学品 分類できない<br>鈍性化爆発物 分類できない<br>急性毒性(経口) 分類できない<br>急性毒性(経皮) 分類できない<br>急性毒性(吸入：気体) 分類対象外<br>急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外<br>急性毒性(吸入：粉じん、ミスト)<br>分類できない<br>皮膚腐食性／刺激性 分類できない<br>眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性<br>分類できない<br>呼吸器感作性 分類できない<br>皮膚感作性 分類できない<br>生殖細胞変異原性 分類できない<br>発がん性 分類できない<br>生殖毒性 分類できない<br>特定標的臓器毒性(単回ばく露)<br>分類できない<br>特定標的臓器毒性(反復ばく露)<br>分類できない<br>誤えん有害性 分類できない<br>水生環境有害性　短期（急性） 区分外<br>水生環境有害性　長期（慢性） 区分外<br>オゾン層への有害性 分類できない |

| 名前 | GHS分類 |
|---|---|
| Swab Wetting Solution | 爆発物 分類できない<br>可燃性ガス 分類対象外<br>エアゾール 分類できない<br>酸化性ガス 分類対象外<br>高圧ガス 分類対象外<br>引火性液体 分類できない<br>可燃性固体 分類対象外<br>自己反応性化学品 分類できない<br>自然発火性液体 分類できない<br>自然発火性固体 分類対象外<br>自己発熱性化学品 分類できない<br>水反応可燃性化学品 分類できない<br>酸化性液体 分類できない<br>酸化性固体 分類対象外<br>有機過酸化物 分類できない<br>金属腐食性化学品 分類できない<br>鈍性化爆発物 分類できない<br>急性毒性(経口) 区分外<br>急性毒性(経皮) 分類できない<br>急性毒性(吸入：気体) 分類対象外<br>急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外<br>急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 区分外<br>皮膚腐食性／刺激性 分類できない<br>眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性<br>分類できない<br>呼吸器感作性 分類できない<br>皮膚感作性 分類できない<br>生殖細胞変異原性 分類できない<br>発がん性 分類できない<br>生殖毒性 分類できない<br>特定標的臓器毒性(単回ばく露)<br>分類できない<br>特定標的臓器毒性(反復ばく露)<br>分類できない<br>誤えん有害性 分類できない<br>水生環境有害性　短期（急性） 区分外<br>水生環境有害性　長期（慢性） 区分外<br>オゾン層への有害性 分類できない |

## 輸送上の注意

**国際規制**

UN RTDGに準ずる

| 国連勧告<br>(UN RTDG) |
|---|
| **国連番号** |
| 輸送規則の定義上危険物に該当しない。 |

| 国連勧告<br>(UN RTDG) |
|---|
| **国連正式品名** |
| 規制されていない |
| **輸送危険物分類** |
| 規制されていない |
| **容器等級** |
| 規制されていない |
| **環境有害性** |
| 規制されていない |

**MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質**

非該当

**国内規制**

その他の情報 : 補足情報なし

## 1. 化学品及び会社情報

| | | |
|---|---|---|
| 化学品の名称 | : | Rapid Extraction Buffer, Type 9 |
| 製品タイプ | : | Food Safety -- [Food Safety] |
| 製品コード | : | T502415G |
| Part Number(s) | : | T502415G\|400001027 |

**推奨用途及び使用上の制限**

| | | |
|---|---|---|
| 推奨用途 | : | 化学研究及び開発、分析用薬剤 |
| 使用上の制限 | : | あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。 |

**会社情報**

**製造業者**

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - https://www.neogen.com/

**輸入業者**

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア12階
T 045-211-4615

**緊急連絡電話番号**

| | | |
|---|---|---|
| 緊急連絡電話番号 | : | 24 hours:<br>Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)<br>Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international) |

## 2. 危険有害性の要約

**GHS分類**

| | | |
|---|---|---|
| 物理化学的危険性 | 爆発物 | 分類できない |
| | 可燃性ガス | 区分に該当しない |
| | エアゾール | 分類できない |
| | 酸化性ガス | 区分に該当しない |
| | 高圧ガス | 区分に該当しない |
| | 引火性液体 | 分類できない |
| | 可燃性固体 | 区分に該当しない |
| | 自己反応性化学品 | 分類できない |
| | 自然発火性液体 | 分類できない |
| | 自然発火性固体 | 区分に該当しない |
| | 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| | 水反応可燃性化学品 | 分類できない |
| | 酸化性液体 | 分類できない |
| | 酸化性固体 | 区分に該当しない |
| | 有機過酸化物 | 分類できない |
| | 金属腐食性化学品 | 分類できない |
| | 鈍性化爆発物 | 分類できない |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性 (経口) | 分類できない |
| | 急性毒性 (経皮) | 分類できない |

| | | |
|---|---|---|
| | 急性毒性 (吸入：気体) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性 (吸入：蒸気) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト) | 分類できない |
| | 皮膚腐食性／刺激性 | 分類できない |
| | 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 分類できない |
| | 呼吸器感作性 | 分類できない |
| | 皮膚感作性 | 分類できない |
| | 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| | 発がん性 | 分類できない |
| | 生殖毒性 | 分類できない |
| | 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | 分類できない |
| | 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | 分類できない |
| | 誤えん有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性　短期（急性） | 区分に該当しない |
| | 水生環境有害性　長期（慢性） | 区分に該当しない |
| | オゾン層への有害性 | 分類できない |

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：混合物

本混合物には、適用可能な規制に従って言及される物質は含まれていない

## 4. 応急措置

**応急措置**

応急措置 一般　：気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合　：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合　：皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合　：予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合　：気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護　：救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

**急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状**

症状/損傷 吸入した場合　：通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 皮膚に付着した場合　：通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合　：通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 飲み込んだ場合　：通常の条件下では特に無し。

**医師に対する特別な注意事項**

その他の医学的アドバイスまたは治療　：対症的に治療すること。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤　：水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤　：強い水流は使用しない。
火災危険性　：火災の危険は一切ない。
爆発の危険　：直接に爆発する危険は全くない。

| | |
|---|---|
| 火災時の危険有害性分解生成物 | : 有毒な煙を放出する可能性がある。 |
| 消火方法 | : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。<br>呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。 |
| 消火時の保護具 | : 適切な保護具を着用して作業する。<br>自給式呼吸器。<br>完全防護服。 |

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置**

| | |
|---|---|
| 一般的措置 | : 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。<br>本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。<br>物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。 |

**非緊急対応者**

| | |
|---|---|
| 保護具 | : 推奨される個人用保護具を着用する。 |
| 応急処置 | : 漏出エリアを換気する。 |

**緊急対応者**

| | |
|---|---|
| 保護具 | : 適切な保護具を着用して作業する。<br>詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。 |
| 応急処置 | : 不要な職員を退避させる。<br>安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 |

**環境に対する注意事項**

| | |
|---|---|
| 環境に対する注意事項 | : 環境への放出を避けること。 |

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

| | |
|---|---|
| 封じ込め方法 | : 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。<br>流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。<br>可能であればリスクなく漏出をせき止める。 |
| 浄化方法 | : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。 |
| その他の情報 | : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。 |

## 7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い**

| | |
|---|---|
| 技術的対策 | : データなし |
| 安全取扱注意事項 | : 作業所の十分な換気を確保する。<br>個人用保護具を着用する。 |
| 接触回避 | : データなし |
| 衛生対策 | : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。<br>製品取扱い後には必ず手を洗う。 |

**保管**

| | |
|---|---|
| 安全な保管条件 | : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。 |
| 安全な容器包装材料 | : データなし |
| 技術的対策 | : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。 |
| 容器包装材料 | : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。 |
| 保管温度 | : 2 – 8 °C |

## 8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|---|---|
| 設備対策 | : 作業所の十分な換気を確保する。 |
| **保護具** | |
| 個人用保護具 | : 推奨される個人用保護具を着用する。 |
| 呼吸用保護具 | : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。 |
| 手の保護具 | : 保護用手袋 |
| 眼の保護具 | : 安全メガネ |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 適切な保護衣を着用する。 |
| 環境へのばく露の制限と監視 | : 環境への放出を避けること。 |

## 9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 物理状態 | : 液体 |
| 色 | : 淡黄色 |
| 臭い | : 無臭、微臭 |
| pH | : 7.4 |
| 融点 | : データなし |
| 凝固点 | : データなし |
| 沸点 | : データなし |
| 引火点 | : データなし |
| 自然発火点 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 可燃性 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 相対密度 | : データなし |
| 密度 | : データなし |
| 相対ガス密度 | : データなし |
| 溶解度 | : 水に可溶。 |
| n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) | : データなし |
| 爆発限界 (vol %) | : データなし |
| 動粘性率 | : データなし |
| 粒子特性 | : データなし |

## 10. 安定性及び反応性

| | |
|---|---|
| 反応性 | : 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。 |
| 化学的安定性 | : 通常の条件下では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | : 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。 |
| 避けるべき条件 | : 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。 |
| 混触危険物質 | : データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。 |

## 11. 有害性情報

| | |
|---|---|
| 急性毒性 (経口) | : 分類できない |
| 急性毒性 (経皮) | : 分類できない |

急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)
区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)
分類できない (粉じん、ミスト)

| **Rapid Extraction Buffer, Type 9** | |
|---|---|
| 未知の急性毒性 (GHS JP) | 混合物の2%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている<br>混合物の97.55%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている<br>混合物の97.55%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている |

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない

| **Rapid Extraction Buffer, Type 9** | |
|---|---|
| pH | 7.4 |

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

| **Rapid Extraction Buffer, Type 9** | |
|---|---|
| pH | 7.4 |

呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
誤えん有害性 : 分類できない

## 12. 環境影響情報

**生態毒性**

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性　短期（急性） : 区分に該当しない
水生環境有害性　長期（慢性） : 区分に該当しない

**残留性・分解性**

| **Rapid Extraction Buffer, Type 9** | |
|---|---|
| 残留性・分解性 | 急速分解性でない |

**生体蓄積性**

| **Rapid Extraction Buffer, Type 9** | |
|---|---|
| 生体蓄積性 | データなし |

**土壌中の移動性**

| **Rapid Extraction Buffer, Type 9** | |
|---|---|
| 土壌中の移動性 | データなし |

**オゾン層への有害性**

オゾン層への有害性 : 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報 : 空の容器を再利用しない。

## 14. 輸送上の注意

**国際規制**

UN RTDGに準ずる

| 国連勧告<br>(UN RTDG) |
|---|
| **国連番号** |
| 輸送規則の定義上危険物に該当しない。 |
| **国連正式品名** |
| 規制されていない |
| **輸送危険物分類** |
| 規制されていない |
| **容器等級** |
| 規制されていない |
| **環境有害性** |
| 規制されていない |

**MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質**

非該当

**国内規制**

その他の情報 : 補足情報なし

## 15. 適用法令

**国内法令**

データなし

## 16. その他の情報

免責条項　当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

## 1. 化学品及び会社情報

| | | |
|---|---|---|
| 化学品の名称 | : | Swab Wetting Solution |
| 製品タイプ | : | Food Safety -- [Food Safety] |
| 製品コード | : | 24368 |
| Part Number(s) | : | 24368\|400000166 |

**推奨用途及び使用上の制限**

| | | |
|---|---|---|
| 推奨用途 | : | 化学研究及び開発、分析用薬剤 |
| 使用上の制限 | : | あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。 |

**会社情報**

**製造業者**

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - https://www.neogen.com/

**輸入業者**

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア12階
T 045-211-4615

**緊急連絡電話番号**

| | | |
|---|---|---|
| 緊急連絡電話番号 | : | 24 hours:<br>Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)<br>Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international) |

## 2. 危険有害性の要約

**GHS分類**

| | | |
|---|---|---|
| 物理化学的危険性 | 爆発物 | 分類できない |
| | 可燃性ガス | 区分に該当しない |
| | エアゾール | 分類できない |
| | 酸化性ガス | 区分に該当しない |
| | 高圧ガス | 区分に該当しない |
| | 引火性液体 | 分類できない |
| | 可燃性固体 | 区分に該当しない |
| | 自己反応性化学品 | 分類できない |
| | 自然発火性液体 | 分類できない |
| | 自然発火性固体 | 区分に該当しない |
| | 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| | 水反応可燃性化学品 | 分類できない |
| | 酸化性液体 | 分類できない |
| | 酸化性固体 | 区分に該当しない |
| | 有機過酸化物 | 分類できない |
| | 金属腐食性化学品 | 分類できない |
| | 鈍性化爆発物 | 分類できない |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性 (経口) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性 (経皮) | 分類できない |

| | | |
|---|---|---|
| | 急性毒性 (吸入：気体) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性 (吸入：蒸気) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト) | 区分に該当しない |
| | 皮膚腐食性／刺激性 | 分類できない |
| | 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 分類できない |
| | 呼吸器感作性 | 分類できない |
| | 皮膚感作性 | 分類できない |
| | 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| | 発がん性 | 分類できない |
| | 生殖毒性 | 分類できない |
| | 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | 分類できない |
| | 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | 分類できない |
| | 誤えん有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性　短期（急性） | 区分に該当しない |
| | 水生環境有害性　長期（慢性） | 区分に該当しない |
| | オゾン層への有害性 | 分類できない |

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　：混合物

| 名前 | 濃度 (%) | 官報公示整理番号 | | CAS 番号 |
|---|---|---|---|---|
| | | 化審法番号 | 安衛法番号 | |
| Di-sodium hydrogen phosphate | ≥ 1 - < 5 | (1)-497 | 既存化学物質 | 10028-24-7 |

## 4. 応急措置

**応急措置**

応急措置 一般　　：気分が悪い場合は医師の診察を受ける。

吸入した場合　　：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合　　：皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合　　：予防措置として眼を水ですすぐ。

飲み込んだ場合　　：気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護　　：救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

**急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状**

症状/損傷 吸入した場合　　：通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 皮膚に付着した場合　　：通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 眼に入った場合　　：通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 飲み込んだ場合　　：通常の条件下では特に無し。

**医師に対する特別な注意事項**

その他の医学的アドバイスまたは治療　　：対症的に治療すること。

## 5. 火災時の措置

| | |
|---|---|
| 適切な消火剤 | : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素 |
| 使ってはならない消火剤 | : 強い水流は使用しない。 |
| 火災危険性 | : 火災の危険は一切ない。 |
| 爆発の危険 | : 直接に爆発する危険は全くない。 |
| 火災時の危険有害性分解生成物 | : 有毒な煙を放出する可能性がある。 |
| 消火方法 | : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。<br>呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。 |
| 消火時の保護具 | : 適切な保護具を着用して作業する。<br>自給式呼吸器。<br>完全防護服。 |

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置**

| | |
|---|---|
| 一般的措置 | : 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。<br>本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。<br>物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。 |

**非緊急対応者**

| | |
|---|---|
| 保護具 | : 推奨される個人用保護具を着用する。 |
| 応急処置 | : 漏出エリアを換気する。 |

**緊急対応者**

| | |
|---|---|
| 保護具 | : 適切な保護具を着用して作業する。<br>詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。 |
| 応急処置 | : 不要な職員を退避させる。<br>安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 |

**環境に対する注意事項**

| | |
|---|---|
| 環境に対する注意事項 | : 環境への放出を避けること。 |

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

| | |
|---|---|
| 封じ込め方法 | : 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。<br>流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。<br>可能であればリスクなく漏出をせき止める。 |
| 浄化方法 | : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。 |
| その他の情報 | : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。 |

## 7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い**

| | |
|---|---|
| 技術的対策 | : データなし |
| 安全取扱注意事項 | : 作業所の十分な換気を確保する。<br>個人用保護具を着用する。 |
| 接触回避 | : データなし |
| 衛生対策 | : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。<br>製品取扱い後には必ず手を洗う。 |

**保管**

| | |
|---|---|
| 安全な保管条件 | ： 涼しいところに置き、日光から遮断すること。 |
| 安全な容器包装材料 | ： データなし |
| 技術的対策 | ： 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。 |
| 容器包装材料 | ： 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。 |

## 8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|---|---|
| 設備対策 | ： 作業所の十分な換気を確保する。 |

**保護具**

| | |
|---|---|
| 個人用保護具 | ： 推奨される個人用保護具を着用する。 |
| 呼吸用保護具 | ： 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。 |
| 手の保護具 | ： 保護用手袋 |
| 眼の保護具 | ： 安全メガネ |
| 皮膚及び身体の保護具 | ： 適切な保護衣を着用する。 |
| 環境へのばく露の制限と監視 | ： 環境への放出を避けること。 |

## 9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 物理状態 | ： 液体 |
| 色 | ： 透明色、無色 |
| 臭い | ： 無臭 |
| pH | ： データなし |
| 融点 | ： データなし |
| 凝固点 | ： データなし |
| 沸点 | ： データなし |
| 引火点 | ： データなし |
| 自然発火点 | ： データなし |
| 分解温度 | ： データなし |
| 可燃性 | ： データなし |
| 蒸気圧 | ： データなし |
| 相対密度 | ： データなし |
| 密度 | ： データなし |
| 相対ガス密度 | ： データなし |
| 溶解度 | ： 水に可溶。 |
| n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) | ： データなし |
| 爆発限界 (vol %) | ： データなし |
| 動粘性率 | ： データなし |
| 粒子特性 | ： データなし |

## 10. 安定性及び反応性

| | |
|---|---|
| 反応性 | ： 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。 |
| 化学的安定性 | ： 通常の条件下では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | ： 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。 |
| 避けるべき条件 | ： 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。 |
| 混触危険物質 | ： データなし |
| 危険有害な分解生成物 | ： 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。 |

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : 区分に該当しない
急性毒性 (経皮) : 分類できない
急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)
区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)
区分に該当しない (粉じん、ミスト)

| **Swab Wetting Solution** | |
|---|---|
| 未知の急性毒性 (GHS JP) | 混合物の12.15%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている<br>混合物の99.2%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている<br>混合物の96.7%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている |

| **Di-sodium hydrogen phosphate (10028-24-7)** | |
|---|---|
| LD50 経口 ラット | > 2000 mg/kg BW (OECD 420: Acute Oral toxicity - Acute Toxic Class Method, Rat, Female, Experimental value, Anhydrous form, Oral, 14 day(s)) |
| LD50 経皮 ラット | > 2000 mg/kg BW (OECD 402: Acute Dermal Toxicity, 24 h, Rat, Male / female, Experimental value, Anhydrous form, Dermal, 14 day(s)) |
| LC50 吸入 - ラット | > 0.83 mg/l (EPA OPP 81-3: Acute Inhalation Toxicity, 4 h, Rat, Male / female, Experimental value, Anhydrous form, Inhalation (dust), 14 day(s)) |

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
誤えん有害性 : 分類できない

| **Di-sodium hydrogen phosphate (10028-24-7)** | |
|---|---|
| 動粘性率 | Not applicable (solid) |

## 12. 環境影響情報

**生態毒性**

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性　短期（急性） : 区分に該当しない
水生環境有害性　長期（慢性） : 区分に該当しない

| **Di-sodium hydrogen phosphate (10028-24-7)** | |
|---|---|
| LC50 - 魚 [1] | > 100 mg/l (OECD 203: Fish, Acute Toxicity Test, 96 h, Oncorhynchus mykiss, Semi-static system, Fresh water, Experimental value, Anhydrous form) |
| EC50 - 甲殻類 [1] | > 100 mg/l (OECD 202: Daphnia sp. Acute Immobilisation Test, 48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Experimental value, Anhydrous form) |

| Di-sodium hydrogen phosphate (10028-24-7) | |
|---|---|
| ErC50 藻類 | > 100 mg/l (EU Method C.3, 72 h, Desmodesmus subspicatus, Static system, Fresh water, Experimental value, Anhydrous form) |

**残留性・分解性**

| Swab Wetting Solution | |
|---|---|
| 残留性・分解性 | 急速分解性でない |

| Di-sodium hydrogen phosphate (10028-24-7) | |
|---|---|
| 残留性・分解性 | Biodegradability: not applicable。 |
| 化学的酸素要求量(COD) | Not applicable (inorganic) |
| ThOD | Not applicable (inorganic) |

**生体蓄積性**

| Swab Wetting Solution | |
|---|---|
| 生体蓄積性 | データなし |

| Di-sodium hydrogen phosphate (10028-24-7) | |
|---|---|
| 生体蓄積性 | Not bioaccumulative。 |

**土壌中の移動性**

| Swab Wetting Solution | |
|---|---|
| 土壌中の移動性 | データなし |

| Di-sodium hydrogen phosphate (10028-24-7) | |
|---|---|
| 表面張力 | No data available in the literature |
| 生態系 - 土壌 | No (test)data on mobility of the substance available。 |

**オゾン層への有害性**

オゾン層への有害性 : 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報 : 空の容器を再利用しない。

## 14. 輸送上の注意

**国際規制**

UN RTDGに準ずる

| 国連勧告<br>(UN RTDG) |
|---|
| **国連番号** |
| 輸送規則の定義上危険物に該当しない。 |
| **国連正式品名** |
| 規制されていない |
| **輸送危険物分類** |
| 規制されていない |
| **容器等級** |
| 規制されていない |
| **環境有害性** |
| 規制されていない |

**MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質**

非該当

**国内規制**

その他の情報　：　補足情報なし

## 15. 適用法令

**国内法令**

大気汚染防止法　：有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第９次答申）

海洋汚染防止法　：有害でない物質（施行令別表第１の２）

有害液体物質（Ｚ類同等の物質）（環境省告示第１４８号第３号）

## 16. その他の情報

免責条項　当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。